

コード	30202
作成年度	26年度

基本事業評価表

基本事業名称	地域福祉推進体制の整備
---------------	--------------------

総合計画の位置付け	
政策名称	誰もが安心できる保健・医療・福祉の充実
施策名称	協力し支えあう地域福祉の推進

課コード	110	関係課名	こども課
主管課名	福祉長寿課		

基本事業の目的

社会福祉法に基づき、誰もが安心して暮らせる福祉の町づくりを目指して、地方公共団体における福祉担当課として町民全体の福祉の増進に資することを目的とする。

基本事業の成果

成果指標名称 1	社会福祉協議会及び民生委員協議会との連携事業	成果指標名称 2	社会福祉協議会が行う各種事業利用者数
成果指標の積算根拠	委託事業数	成果指標の積算根拠	社会福祉協議会が行う各種事業利用者数
目標達成年度	平成26年度	目標達成年度	平成26年度
目標達成数値	7事業	目標達成数値	80,000人

年		度		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
成果指標 1	目標 A	単位	事業	7	7	7	7	7
	実績 B		事業	7	7	7	7	-
	達成率 B/A		%	100.0	100.0	100.0	100.0	
成果指標 2	目標 A	単位	人	78,000	78,000	80,000	80,000	80,000
	実績 B		人	91,980	99,739	99,939	103,022	-
	達成率 B/A		%	117.9	127.9	124.9	128.8	

1次評価	現状	誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりを目指して、地方公共団体として町民全体の福祉の増進に資することを目的に各種事業を行う団体に対して、補助金交付事業を行っているが、町も財政が逼迫しており、十分な補助が出来ていない状況である。
	課題	町も財政が逼迫しており、今後も補助金の増額が困難な状況なので、社会福祉協議会や民生委員協議会においても、運営方法の見直しや効率化を図り、社会福祉協議会については、今後も収益事業の推進や事業費の節減に向け連携して取り組む必要がある。
	改善	社会福祉協議会においては、収益の上がる事業等に取り組むなど収入増に努め、また、運営方針の見直しや効率化を図って、事業費の節減に努める。民生委員協議会においては、民生委員・児童委員定数の見直しを行うなど、経費節減に努め、合理化を図る。
2次評価	地域福祉計画の推進を図るため、単に関係する団体に補助・委託するのではなく、事業の内容の協議、成果の検証など真の連携が不可欠である。今後も地域に密着した福祉施策の展開を図り、効率的で実効性のある運営が行えるよう指導、助言を行っていくこと。	
3次評価 住民等の意見		
町の対応		

※3次評価は、住民等の意見があった場合にのみ、再度公表するものとする。

◆基本事業を構成する評価対象事業◆

番号	評価コード	評価対象事業名称	担当課	平成25年度 直接事業費	評価の方向性
1	302020101	新上五島町買い物支援事業	福祉長寿課	238千円	(途中) このまま事業を継続
2	302020102	生活館改修事業	福祉長寿課	297千円	(途中) このまま事業を継続
3	302020201	民生委員・児童委員協議会補助事業	福祉長寿課	6,585千円	(途中) このまま事業を継続
4	302020302	有川地域福祉センターふれあい空調 設備改修事業	福祉長寿課	3,729千円	(事後) 平成25年度で事業完了
5	302020404	奈良尾地域福祉センターしおさいボ イラー改修事業	福祉長寿課	4,047千円	(事後) 平成25年度で事業完了
6	302020801	社会福祉協議会補助事業	福祉長寿課	71,614千円	(途中) 事業内容を見直して継続
7	302021001	遺族会補助事業	福祉長寿課	745千円	(途中) 事業内容を見直して継続
8	302021101	母子寡婦福祉会補助事業	こども課	703千円	(途中) このまま事業を継続
9	302021301	地域福祉活動補助事業	福祉長寿課	4,314千円	(途中) このまま事業を継続
10	302021501	ひとり親家庭の学習支援事業	こども課	314千円	(途中) 事業内容を見直して継続
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
基本事業を構成する評価対象事業の合計事業費				92,586千円	